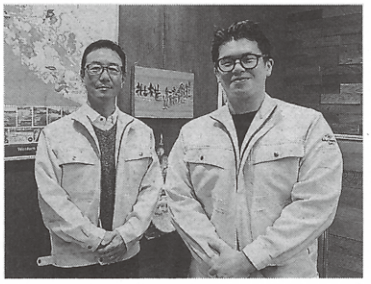
杉製品の輸出開始

村上木材

村上木材（大阪市、佐原謙次社長）は、素材部製品チームで米国向けに国産杉や中国の柳杉によるフェンス材などの輸出を始めた。年初から始めて10コンテナ程度だが、フェリー・アンドリアン・フィリップ氏は「毎月コンスタントに輸出していきたい」と語る。

同氏は台湾語、インドネシア語、英語、日本語、中国語を駆使して各地からの仕入れを担当。円安が続くとみて製品輸出の準備を続けていた。



フェリー・アンドリアン・フィリップ氏（右）と大南氏

大南和博次長は、1994年入社で、北米を7年間行き来してカスタムカットに取り組んできた。今でもヘム・バルの扱いではトップクラスで、3カ月に1回カスタムカットを継続している。

今では45、35、24ミリ等の板にして枠材向けなどへの販売もしている。カスタムカットでは米ヒバも定期的に実施している。